地域医療・介護・保健情報連携システム

【うすき石仏ねっと】
大分県臼杵市

在宅医療・介護連携推進事業

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民 / 障害者 / 生活困窮者 / 認知症の方 / その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	34,895人
	高齢化率（R7.1月時点）	42.4%
	要介護認定率（R7.1月時点）	18.4%
	取組の予算規模（年間・臼杵市Z会議と合同）	300万円

詳細はHPから

【うすき石仏ねっと】
https://usukisekibutsu.projectz12.sky.linkclub.com/

取組概要

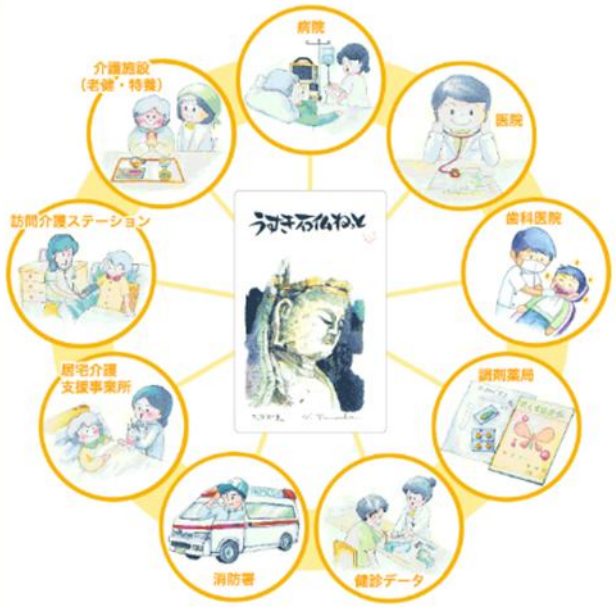
- 臼杵市や臼杵市医師会などを構成員とする協議会で運営する、独自の医療・介護・包括型ICTネットワーク。
- 市内の医療・介護・福祉・行政等の機関を結び、市民の健康、病気、調剤、健診等のデータを関係者間で共有している。

背景・きっかけ

- 高齢化が進み、医療・介護を支える人材が不足しつつあることを危惧した臼杵市医師会が、平成15年3月から取組を開始。平成24年度、厚生労働省のモデル事業「在宅医療連携拠点事業」を受け、「プロジェクトＺ」（Ｚは在宅の頭文字）というチームが設置され、市内の医療・介護関係者が集う機会が増えたことから起因し、調剤薬局や介護事業所なども参画するようになり、平成27年4月から臼杵市医師会、臼杵市などを構成員とする「うすき石仏ねっと運営協議会」が発足し、当該協議会が石仏ねっとを運営することとなった。

取組の経緯

- 臼杵市医師会関係者２名が、「人のために良いものをつくり、広げていきたい」という強い思いから、事態を打開すべく自ら関係各所を回る中で、さまざまな人たちが2人の思いに共感し、輪が広がっていった。平成24年度に共同の勉強会が開催されるなど、臼杵市医師会と臼杵市の連携が始まった。
- また、同年度に厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」の受託が決まり、市内の医療・介護関係者が集う機会が増え、訪問看護や調剤薬局、介護施設が石仏ねっとに参加するようになった。そして、平成27年4月から「うすき石仏ねっと運営協議会」（以下「協議会」という。）が発足し、臼杵市医師会と臼杵市が正式に合同で石仏ねっとを運営していくことになった。
- これ以降、歯科医院や消防署、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）の石仏ねっとへの加入が決まり、健康診断データの共有が始まるなど、石仏ねっとはその規模を順調に拡大させることができた。



うすき石仏ねっと

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 年齢にかかわらず、臼杵市内の医療・介護・行政等の機関を結ぶ臼杵市独自の医療・介護・包括型ICTネットワーク。関係者間で、市民の健康、病気、調剤、健診等のデータを情報共有することで、より効率的な医療介護提供体制の構築を図る。
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：うすき石仏ねっと運営協議会
  - ✓ 連携先：臼杵市、臼杵市医師会及び豊後大野市医師会、大分県中部保健所、臼杵市医師会立コスモス病院、臼津歯科医師会及び豊後大野市歯科医師会、臼津薬剤師会、介護保険施設、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、臼杵市医師会地域包括支援センターコスモス
- **経費・財源**
  - ✓ 臼杵市および臼杵市医師会による負担金、参加施設からの会費：H24年～

成果

- 定量面：
  - 緊急時における救急隊の現場滞在時間について、血糖測定の処置をした患者に対する平均現場滞在時間は、石仏ねっと加入者（562秒）と未加入者（654秒）との間には92秒の差があった。
- 定性面：
  - 石仏ねっとの救急専用画面は既往歴・かかりつけ医療機関等を短時間で確認できる構成となっており、救急隊員は現場に到着する前に処置の準備ができ、搬送先の選定等に役立っている。
  - 石仏ねっとの糖尿病連携手帳（複数の医療機関で受ける血液検査等の検査結果を時系列でみることができる機能）の活用で継続的な観察ができ、糖尿病の専門医介入の効果を適切に確認できるようになり、また、かかりつけ医との連携体制も整い、重症化予防を図ることができた。

今後の展望

- 加入促進を図りながら多様な機関（職種）が今まで以上に効率的かつ効果的に活用できるよう、更なる改良を進める。
- 周産期から終末期まで生涯にわたり健診結果等の情報が医療介護分野で利活用できる仕組みを構築する。
- 県内の医療ICTネットワークとの連携を進め、更なる医療介護提供体制の充実を図る。

【うすき石仏ねっと】
大分県臼杵市

取組のポイント

- **医療・介護・行政等の機関を結んだICTネットワーク**
- 徐々に規模を拡大させ、医療関係だけでない幅広いネットワークを構築（現在は以下の機関で連携）
  - ➢ 病院・診療所
  - ➢ 調剤薬局
  - ➢ 歯科医院
  - ➢ 介護施設
  - ➢ 居宅介護支援事業所
  - ➢ 訪問看護
  - ➢ 特養・老健施設
  - ➢ デイ・ヘルパー・グループホーム
  - ➢ 医師会包括支援センター
  - ➢ 行政（臼杵市、大分県中部保健所）
  - ➢ 消防署
- **様々な場面での連携データの活用**
- 現在は、救急、糖尿病患者への継続的な支援や重症化予防などで連携データを活用。今後も周産期から終末期まで利活用可能な仕組みの構築を目指す。